

事業名： SNC 可視化プロジェクト

事業報告：

1. 研究概要

本研究は公立化を目指す本学に関する認識を、スマートネイチャーシティのアクティビティなどでまちライブラリを訪れる市民を対象とするものである。スマートネイチャーシティちとせ(SNC)を千歳市民に認知してもらい、本学の教育・研究活動に理解と協力が得られるようになることを目的とした。また、SNCのアクティビティを千歳市内の活動拠点において積極的にアピールすると共に、既に行なわれている外部向けの情報発信をSNCで束ねるなどの活動を行なうものである。こうした活動を行なうことにより、SNCが可視化されて、市民への周知はもとより、本学が目指す活動への参考となることが期待し活動を行った。

2. SNC 特設サイトの構築

SNC活動を情報公開するために、特設サイトより情報の発信とアーカイブを行った。今年度は、昨年に引き続き、千歳民報社のコラム「ゆのみ」における本学教員による内容を、千歳民報社の承諾のもとにコラム欄



に掲載した。今年度は情報システム工学科の曾我が担当し、主に、本学における学生の活動を紹介した「千歳学ノート」の連載を転載した。ここでは、新聞紙面にはなかったイメージ写真を追加することで、内容を膨らませることをきいた。なお、千歳民報社は1月末を持って休刊となったが、本学教員にコラム「ゆのみ」は引き続き苫小牧民報に掲載されており、SNC特設サイトにおいても継続して掲載されている。

3. SNC 活動の企画と公開

様々な学内機関に働きかけ、サークルなどの学生活動、同窓会活動などが市民に届くように企画を行う。また、学外での学生活動なども、公開素材として利用する。市民と関わりあう活動において、チラシ、ポスター、ビデオなどの媒体を通じてSNCをアピールする活動を企画・支援する。他に、CIFなどのイベントにおいては、これまでに本学図書館で公開しているナノテクに関するビデオ映像やSNC向けにデザインしたポスターなどを、本学階段教室前や各種イベントなどで展示している。なお、今年度からは配信サーバーの作業に関するマニュアルも整備し、地域連携センター職員によるコンテンツのアップロードが可能となった。

支笏湖・山線プロジェクト

～ジオラマと鉄道模型と映像を使った王子軽便鉄道の復活～



支笏湖から流れ出る千歳川には「山線鉄橋」と呼ばれる橋が架かっています。
明治41年から昭和26年まで、王子製紙苫小牧工場と支笏湖畔、さらには千歳川沿いの王子製紙第4発電所(千歳市水明橋)まで延長約40kmを結び「山線」の愛称で親しまれた王子軽便鉄道に使われていたもので、当初は木橋だったものが大正13年に現在の橋に架け替えられました。この橋は北海道内に現存する現役最古の鋼橋で、千歳市の有形文化財に指定され、朱色に塗られたその姿は今では異色の景観に溶け込み支笏湖のシンボルとなっています。
山線は製紙業の歩みを物語る産業遺産として、山線鉄橋とともに平成19年、国の近代化産業遺産群33に登録されたほか、平成30年には山線鉄橋が選奨土木遺産に認定されました。
支笏湖・山線プロジェクト実行委員会では、かつて王子軽便鉄道が敷設されていた苫小牧～支笏湖、それぞれの地域の歴史の中で、特に支笏湖の発展の礎となった山線の歴史をジオラマと鉄道模型と映像で再現し、その歴史的役割や先人たちの努力など、有形・無形の価値を現代に伝える展示施設を、支笏湖園地にある自然公園財団所有の既存施設を改修して整備しています。

公立千歳科学技術大学の取り組み

普及研究室では、支笏湖ビジターセンターで作成した「支笏湖・山線鉄橋」と当時の鉄道の模型(ジオラマ)を用いて、模型のVR画像を生成、作成したVR画像を再生できるデジタルガイドブックをまとめました。作成した模型とデジタルガイドブックは、2019年千歳・支笏湖水運まつりの実会場を対象に、模型の展示やデジタルガイドブックの観光資源としての可能性について調査に活用しました。今後、模型についてはスケールアップを検討しており、展示の際に閲覧できるVR・AR映像の提供など様々な面での協力を予定しています。



支笏湖・山線プロジェクト実行委員会(令和元年6月現在)

【構成団体】 一般財団法人自然公園財団支笏湖支部、国立公園支笏湖運営委員会、支笏湖温泉旅館組合、支笏湖自治振興会、支笏湖まつり実行委員会、支笏湖漁業協同組合、支笏湖小学校PTA、支笏湖歴史協会

【事務局】 一般財団法人自然公園財団支笏湖支部

【協力】 釧路市支笏湖臨立公園管理事務所、千歳市、千歳市教育委員会、一般社団法人千歳観光連盟、千歳の観光を考える会、公立千歳科学技術大学地域連携センター、苫小牧市、苫小牧市美術館博物館、苫小牧市立中央図書館、王子製紙株式会社苫小牧工場、苫小牧漁の会、支笏湖観光事業協同組合、小樽市総合博物館、一般社団法人メニューパイウェイ支笏センター、北海道鉄道観光資源研究会、サッポロ大通りまちづくり株式会社、札幌コムモデル、支笏湖地区パークボランティア連絡会



公立千歳科学技術大学 X ちとせ



公立千歳科学技術大学

4. SNCの商標登録

本SNCの商標・ロゴマーク登録を申請中である。現在のところ、商標登録済みのSNCが数件あることがわかっており、専門業社により申請許可を取得すべく作業を行なっている。